

安全な建物には欠かせない、 地盤強度の調査機

納期相談
企画力自信有
コスト相談
メイトイン
ジャパン
試作可
小ロット



試験機の組立・塗装・検査などを行う自社工場

業務内容 ISO認定、 高品質な試験機を製造

土木・建築工事で欠かせないのが地盤の強度調査。ここ数年は大きな災害が起こったことや耐震偽装などの社会問題により、安全に対する意識が高まっている。同社は、耐震強度を測る住宅向けの試験機や、産業用機械や自動車の部品であるベアリングの耐久性を測定する試験機の製造を手がける。

平成15年に品質管理の国際規格ISO 9001を取得。平成21年にはJCS計量法に基づく計量法トレーサビリティ制度に認定されるなど、品質の高い試験機を製造している。

強み 設計人材が豊富 顧客の要望に応える

設計・組立・塗装・検査を一貫して行っているため、顧客の要望にあった製品を短納期で作ることが強みだ。納品前に顧客工場モニター試験を実施することで、そこで出た要望を製品作りに反映させ、満足度の高い試験機を提供する。

また、各工程の人数は2〜3名だが、設計部門には5名を配置。技術力を強化し、顧客のあらゆる注文に対応する体制を整えている。加えて顧客満足度の向上にも取り組んでおり、自社製品だけでなく製造してから年数が経過した他社製品の故障修理やオーバーホールにも対応。ひと月に20〜30台の修理要望に応えている。

人材確保 働き方改革にも取り組み、 社員を大切に作る社風

同社は勤続年数が長いベテラン社員が多く、高い技術力を誇る。目下の課題は人材確保。「若手が働きやすい環境を整える

ことや、リクルート活動も活発に行うことで社外にアピールする」と安田勝則社長は意欲を話す。過去10年で離職者は0名と、職場環境は良好だが、若手社員が不足しているという。

人材確保のために安田社長は勤務環境などの整備にも積極的に取り組んでいる。社員には定時退社を推奨するほか、賞与など待遇面においても社員優先で検討を進めている。

今後の展望 多数の大学と産学連携 技術力向上へ

平成32年（2020年）の東京オリンピックなどによる建築業界全体の好況に伴い、試験機の需要も伸びている。しかし平成31年には業界全体の景気が落ち込むことが予想されるため、設計力・開発力を強化し競合と差別化を図ることが必要だ。5名の設計者のうち20代の社員は2名。若手社員への技術継承のために実践的な環境下でベテラン社員がマンツーマンでの指導を実施している。

また同社は全国数十の大学と協同で製品開発を行っている。研究者らと共同開発することは技術力向上につながる。「今後はひと月に1台は新商品を開発したい」と安田社長は意欲を示す。



2名の若手社員も活躍する設計現場



試験機の組立を行っている

当社の歴史



創業から現在に至るまで土木建築関係の試験機を製造しており、技術力に自信があります。設計から最終の検査まで自社で担当することが特徴で、お客様のニーズに合った製品作りを行っています。また、良い製品を作るためには社員が働きやすい環境をつくることも大切。残業ゼロを目標に、社員の働きやすい環境の整備にも取り組んでいます。

代表取締役 安田 勝則さん

<http://kansaikiki-s.co.jp/>

主な事業内容

土木・建築各種試験機、試験器具の設計製造、理化学機器の販売

主な取引先(納入先)

ゼネコン、軸受メーカー、大学等研究機関、各地域コンクリート工業組合共同試験場

- 住 所 〒538-0043 大阪市鶴見区 今津南2-4-26
- TEL 06-6961-7637
- FAX 06-6961-8062
- 創業 昭和27年7月
- 設立 昭和35年8月
- 資本金 1,000万円
- 従業員 27名